

同和教育で自覚するもの

公民館運営委員長 田辺 孝

▼人間のはたらき
人間が昔にくらべて少しずつでも幸せになったのは、人間が手分けして働き、おたがい助け合ってきたからではないでしょうか。

「社会は変わる」ということ——
昔から今日まで、ずいぶん変わってきたし、これからもどんどん変わるでしょう。社会は人間が作っているのだから、人間の力によって変えることができるのです。今日まで社会を変えてきたのは、もっと幸せになりたいという人間の願いがそうさせているのです。それも、ひとりやふたりの力ではないみんなが力を合わせ、助け合い、手分けして働いてきたからです。
けれど歴史的事実等で、底辺の人たちは、劣悪な教育条件の下で正常な成長発達を妨げられ、進学、就職などにおいても進路を阻害されてきたのです。

私たちはこのような条件を見つけて、改善をはかり、だれもが幸せになる進路保障体制の確立に、大いなる主張につとめなくてはなりません。

学校教育では、「正しい労働観、職業観をもち、正しい社会認識に立つて矛盾を克服し、社会の進歩につくす意欲と能力をもった人間」を育てています。また、「社会は人々の相互関連の上になりたっていると同時に、人々はけっして同じように暮らしたり、働いたりしているのではなくてずいぶんとちがった暮らし方、働き方をしているものだということ、そして、それぞれが願いをもっていること、さらにその願いには、その人だけの願いと、みんなが同じようにもっている願いがあることをわからせたい。」と、事例を通してながら授業は展開されています。
教科を中核とした全教育の領域で、働く職業人として必要な知識（自然、人間、芸術、社会に対するたしかな認識）やものの見方、考え方、健康でたくましい心身、すべての技術の基礎になる技能などを伸ばし、働くものの誇りとしての未来に対する確信や権利意

識の理解に努めています。

私たちはこれらのことをふまえ、働くことよって、どう変わったかという体験と自覚を大切にしたいものです。（次回は、人間のつながりを考えたいと思います。）

社会を明るくする運動

青少年を非行から守る

全国強調月間（七月）

大代町少年健全育成協議会

平成元年は国内国外共に問題、話題の多い年となりました。

リクルート疑惑は遂に総理大臣を初め閣僚が相次いで辞職し、次官の逮捕など政党の屋体骨をゆすぶる大きな不祥事件となり、世の人々の注目を集めました。

又お隣の中国では、自由化、民生化を求める若い世代の行動に軍部が武力を以て制圧、多数の市民と共に多くの犠牲者が続出し、国際的に批判が問われきました。

この様な社会環境の中でも、子供達の成長はひとときの停滞もなく進んでいるわけですが、果してどんな影響を



もたらしめて行くのか、最近の出来事等から何かやり切れない感じが致します。さて標記の月間行事の一環として、大田市では去る七月一日大田市民会館に於て「子供が育つ親、学校、地域の役割と課題」として、島大、山下政俊教授の講演会が開かれました。

◆子供の行動（社会性）に対する大人の理解が今、見直さるべき時である。登校拒否や反抗、断絶など様々なトラブルの中で、子供の発達性を疎害しているもの一つに、大人の無理解があると思われる。

子供の反抗や抵抗は成長過程の中で必ず生ずる自然の現象（リズム）であると共に、現に成長して来ている証拠でもある。

何ら抵抗も反抗も示さない子供の生活、これは彼等を野人に追い込んでしまふ。

何時迄経っても同じ子供としか見られない大人達、子供の要求や訴えを一言のもとに否定してしまふ大人、此処に子供の育たない要素が含有されている。

そのてはなからうか

特に共同生活を営む家庭に於ては対応性を考え乍ら、温かいまなざしと助言が必要である。

子供は自分の行動にちゅうちよしている、又親の愛を確かめている。

「かわいい子には旅を」と言う言葉、まかせせる、放任ではない。妥協、成長に応じた目標をつかむこと。

★家庭教育、両親の身体で示したい。家庭では情緒的機能を育てる。

★学校、集団生活の中での、心の陶冶、知育、技能、意識と行動、判断力を養成するところ。

★地域の人々との交流、各種イベント（行事、集会）への参加、豊かな体験を学ぶ場として大切な事。

子供を育成していく大人達から子供への働きかけ、それは子供から常に尊敬と信頼を得られてこそ初めて働きかけが出来ることを知るべきである。

8月 少年健全育成指標

健康に気をつけ

危険から身を守ろう



健康

すこやかに長生きを

おとしよりの食事

大田保健所



心身共にすこやかに生活する為にはふだんからの食事が大切です。

人は年を取ると共に身体の機能が全体的に低下します。然し個人的には実際の年齢との差が大きい人もいます。

同じ年齢のおとしよりも、身体的精神的に「若々しい人」と「ふけ込んだ人」とがおられます。

人は年を取ると……目がかすむ、味覚、臭覚が低下する、血管がもろく、固くなる、便秘や下痢を起こし易い、骨がもろくなる、動きがにぶくなる、

がんこ、物忘れしやすくなる、耳が聞こえにくくなる、唾液の分泌が少なくなる、むせたり、飲み込み難くなる、歯が弱くなる、消化吸収力が低下する

貧血になり易い、出血し易くなる……等

食事はおとしよりにとって、大きな楽しみの一つなので細かい心遣いが必要です。

又何らかの病気を持っている方が多いので、それらの状況に応じて食事の

内容や調理法を工夫しましょう。

- (1) 鮮度のよい材料を選んで
- (2) 食べ易い形に調理して
- (3) 塩分を少なくした調理法の工夫を
- (4) 少量の食事で回数を多く(四回)
- (5) 季節感のあるものや行事食を取り入れて
- (6) 食習慣を充分に理解して
- (7) 出来るだけ一人で食べる事のない様に



「耳」

水が入った・耳が痛い

(日赤応急手当の知識)

◆水の入った方の耳を下にして片足で跳んでみます。

または綿棒やこよりで吸い取ります
耳を下に向けて温かい石をあてる方法もあります。

◆風で発熱のあと、はしかのあと、泳いだ翌日など耳の奥から頭にかけて痛い、耳鳴りがする、くさい耳だれが出る、耳の中程が痛い、耳を引っぱると更に痛い(中耳炎)事があります。

こんなときは

- (1) すぐ医師に診てもらいます。
- (2) 耳だれや血液が出て綿棒などで触ったり、綿やガーゼを詰めたりしてはいけません。外からガーゼ類でおおっておきます。
- (3) ラップかビニールを耳にあて、冷たいタオルか氷のうで冷やします
- (4) 耳の奥は脳と紙一重。ほおっておくと脳膜炎などの恐ろしい病気になるので注意しましょう。
- (5) 鼻を強くかむと鼻汁を鼓膜の方へやり、痛めることがあります。

片方ずつ静かにかみましよう

生活のしおり



|| 眼鏡のくもり止めにせっけん水 ||

眼鏡をかけている人にとって困るのは眼鏡のくもり、特に雨の日はくもりやすく、又食事の時も湯気でくもったりすると不便です。

くもりは指先にせっけん水をつけてレンズの両面に塗るだけで簡単に防げます。せっけんの液がレンズの表面に薄い膜を作ってくもりを防ぎます。車の窓、洗面所や浴室などの鏡のく

もり止めも同じ事です。

(記事・平凡社奥様便利帳より)

おしらせ

★八月十三日 (日中)

自治会長さんを通して都市交流会の御案内を致しました。日中行事、夜の盆踊大会、皆さん多数ご参加下さい。

★八月十七日 (木)

「オペラとカンツォーネの夕べ」

夜6時から川本町、野外音楽堂に於て郷土上市出身、世界のオペラ歌手、

田中公道さんの帰郷記念コンサートが開かれます。曲目「わが太陽」外12曲尚、2部として田中與亜さんも出演される様です。山陰地方ではめったに無いチャンス! 皆さんお出かけになりませんか。ご声援下さい。(入場無料)

★八月十八日 (金)

午前九時三十分から、浄土寺に於て『戦死者追弔大法要』が行われます。多数ご参詣下さい。

★下市・田辺孝様より『日本文学全集』二葉亭四迷外、83冊を御寄贈頂きました。公民館図書室に備えてあります。皆さんご利用下さい。

